地域での品質の違い、厳

い環境下での燃料劣化

イセル ヘミセルロー

ス活用

ロースは繊維や液晶保護

で混合技術を組み合わせている。では、独自の化学合成技術と各種のプラスチック材料といい。

開

酢酸セルロースなどのセ

れた海洋生分解性や流動

を活用して互い

などにも対応でき、燃料

「動車関連企業へ幅広

企業の事業革新。

保有するノウハウを融合

ベンチャ

ックの開発に着手した。新たな植物由来プラスチ

品などの原料としてグロ

新たな材料開発を進

クの開発を目指す。

まず樹木の特徴である

めてい

プラスチックと、BIP のセルロース由来バイオ

通

を世界で初めて開発.

円)と共同で、ダイセル川崎市、資本金4千万

源量が膨大ながらも活用 一方のBIPCは、資

ルロースを原料としたバ 例の非常に少ないヘミセ

来バイオプラは、

ともに

性プラスチックの開発を

2 組んでいく。さらに10 進め、用途探索にも取り

プラとヘミセルロース・

セルロース由来バイオ

性も兼備した海洋生分解強靭性を最大限に発揮し

燃料の種類やメーカー、

燃料性改良グレー

などで一定の需要があ

系部品に必要な基本特性

(機械物性・耐久性・溶

でいるものの、ディーゼ

応できない場合もある。

強度や剛性が高くデザイ

料や酸性雨への耐久性を

つ。車両の電動とは重一社が得意とする用途の一

し、標準的なPOMで対ディーゼル燃料が存在

結晶サイズが小さく密な

ため高結晶化度であり、

ゼル試験燃料中に

アなど他のPOM生産拠を見極めながらマレーシ を見極めながらマレー

ポリエステルシー

プの40セッ

マスク、

成形性も高めた。また、

応を促進させるが、

成分(約3千 艸)を含む

を含む燃料はPOMの

高濃度の硫黄成分など

車両の電動化は進ん

POM

イ

ゼ

ル

ま耐燃料性、耐酸性を高 着性など)を維持したま

機械物性なども他

めた。酸や硫黄を高濃度

ポリプラ

低品

質油にも対応

自動車メーカーがドイツーた。足元、欧州では大手に。足元、欧州では大手にならない」と述べていまで確認することはなく

| 車をかけていく。

ハーの在庫調整の進展の

へ準じた方法として

率9%、陰性一致

2019—nCo | 5月12日版)で陽「病原体検出マニ | 査方法について」

まる見通しであり、さら

300 ががシリコンウエ 定的であり、4月以降は

東洋紡の新型コロナウ

際に用いられる。

の普及が進んでも安全を

しについて「電気自動車人力デバイスの需要見通

やフランスにある工場

場から半導体工場へのシBはシリコンウエハー工

療保険

適用

影響もあり、現時点では稼働時期は未定。 信越ポリマーは、 3棟目となる工場建屋を増設し、増産体制を整える。新型コロナウイルス感染拡大の 需要の伸びを取り込んでいく。 インド・チェンナイで自動車向け入力デバイスの供給体制を強化す 市場正常化のメドが立ち次第、

開。携帯電話向けキーパーチやタッチパネルを展 割を占める入力デバイスが、同部門の売上高の7 きく寄与した。 の需要堅調さが増益に大 イス部門の19年度営業利 需要増に対応するため、

これでは、<br /

| は主にインド国内と欧州 生産子会社のシンエツ 2割増の生産能力増強を 計2回、それぞれ従来比18年から20年4月までに 新型コロナウイルス感染実施した。インド政府の 拡大対策(ロックダウ

ドの生産で培ったゴム

デバイスが属す電子デバ役の一つでもある。入力

ので、同社収益の牽引

は、需要の回復状況を見れ込む見通し。完成後は当初予定の7月からずば当初予定の7月からずば 開している。 作業、商業生産開始の夕て、生産設備の据え付け

を余儀なくされたが、今 生産設備を立ち

ー は 20

| 能力増強も検討していく。| | 魚川工場(新潟県)で半 要案件となる。また、糸を投じる。インド子会社を投じる。インド子会社を投じる。インド子会社を投じる。

2 場の増設が完了した影響 30億円だった。糸魚川工 19年度の設備投資額は

半導体容器増強も検討 土 結果、20年度は19年度かりはほぼ ・ おどで18年度からはほぼ る。2種類ある容器のうな、糸魚川工場で現状比で、糸魚川工場で現状比で ら5億円程度増える。 拡充したい考え。FOS ち 「FOSB」 の 生産を 二社)。 一年は上向きの 段えておらず、

では、「FOUP」は、19年度 となるなど需要が振るわ となるなど需要が振るわります。 では、19年度 お果、同容器には大きな 引き合いが寄せられていっ るという。 ている。ただ、「デバ 「FOUP」は、19年度 造工程で用いられる容器 備投資鈍化の影響を受け 半導体工場の製

0%の遺伝子検査



C R 法 の ロナウイ

力ワクチン

レロンリマ

試験実施を承認 してい

返し部分を調節し、鼻の地にもこだわった。折り 100枚を1セットと 10枚とフィルターシート - (党込み、支払はカード」し、価格は3980円 ガネの曇りを軽減するこ 形状に合わせることでメ (税込み、支払はカー 米社から製造受託 米社から製造受託 新型コロナウイル A d a p t V

ズレにく P)技術は、ウイルス様粒子(同様の構造を持つ

油

採用されて以来、長年採助に使用できるとの評価的に使用できるとの評価

るマスク本体は、再使用す

・ プロスター では、 関連会社のイノ でスク &」を11日から発 では、 アマーボディーの洗える

るオンラインショップをアックリビングが運営す

患者が増大していること

に戻す役割を担う。中させて酸素を添加し、

に戻す役割を担う。中空しせて酸素を添加し、体人工肺は静脈血を灌流

| る。同社の中になどで

栓塞栓症などを引き起こ

えクを抑制できる特

液を、内側に酸素を流す

イクローブの3者で、3ベンチャー、フレンドマ

|し、ユーザー評価や製品|

業化を目指 改良を経て事

ク不足に対応し、

国産ポ

リウレタン製マスク「ポ

利用可能な

ションは、全国的なマス

イノアックコーポレ

イノアック

するが、

製のマスクは他社も販売

使用できるポリウレタン通じて販売する。複数回

一層構造としたことでウイ

、ポリウレタンの三リウレタン、フィルートをマスクに挟ん

とも可能。

ンドマイクローブが試作た。2~3カ月後にフレ

糸膜は中空糸の外側に血

克敏教授と名古屋大学発学大学院工学研究科の堀

新型コロナ

場で増産に対応可能な体 を強化する。既に千葉工

3Dマスク開発に着手

三井化学 名大発VBと共同で

授らが3Dプリンターでする。マスク本体は堀教 フィルターの素材を提供

再使用可能な新規マスク

=写真=の開発に着手

洗えるウレタン マスクを発売

新型コ

口

0

用を増産

用され続けている。

ルスによる重症呼吸不全

世界で新型コロナウイ

三善を尽くす方針だ。

を持つのが特徴。三井化ながらウイルス除去機能構成され、再使用が可能

めとする各種薬剤の探索 果を示す酵素製剤をはじ

学は、ウイルス除去効果

のある不織布製使い捨て

性、デザイン性を考慮した。
は、デザイン性を考慮した。
に、デザイン性を考慮した。
に、デザイン性を考慮した。
に、デザイン性を考慮した。
に、デザイン性を考慮した。

プロピレン製のフィルタ気性も良好。さらにポリ

スダストをカッ

ルすることで花粉とハウ 格(セル)をコント 構成され、

作成する。

ポリウレタンは樹脂骨

さなどが特徴で、工場や コールセンターなどあら からの注文を見込む。 に効くとして幅広い 息苦しさを感じさせな

| けではなくウレタン発泡 | マスクとしての機能だ | 集率はともに99%以上。 |

製マスク用インナー「カー」に、中性洗剤やハンドソーた。中性洗剤やハンドソート。不織布マスクの内側 に装着して使い、3回(3 日)ほど不織布マスクの 価格(税込み、送料込

弘前市)は、ポリウレタン マスク用インナー 凸版メディア(青森県 凸版メディアが開発

ているが、需要動向など 富士工場で製造し供給し 現在、H140DRは 一性も良好で、機械的な長一・一性も良好。クリープ破壊特元も良好で、機械的な長ががりが財料での評価と な特性を備える。 がりが期待されるバイオ 新型コ ロナ対策を支援

多様な機能や特徴を引き組み合わせ、植物本来の の製品を 大に伴う医療現場での深コロナウイルスの感染拡 三菱ケミカル 医療従事者に

のジェイフィルムで供給 ルドを供給する。子会社 い、同月中旬からは厚生 は を療機関への寄付を行った。 5月初旬から一部の フェースシールドが40万 1 援を目的に、プラスチッ 能力はガウンが2万枚、 体制を整えた。月間生産 マスクや寄付金 ダウ・ケミカル日本と ダウ日本グループ

していたN95マスク ダウ・東レのダウ日本グ イルス関連の支援とし 新型コロナウ

域(東京都品川区、千芸スク(5千枚)を操業

バーのセット) 70 エアとフード、ブー (ーのセット)

寄付を実行中。 に充てられる計画 乗せするもので

支援宣言に参画

防護服セッ 日立化成

する新型コロナウイル帝人は、「知的財産に

治療をはじめとす

UBE



1897年、UBEグループは小さな村の 炭鉱組合からスタートしました。 創業者・渡辺祐策翁は、炭鉱業から発 展する工業の開発に力を注ぎ、今日の UBEの原型となる機械、セメント、化 学製品へと事業を大きく広げました。 新しい技術に果敢に挑戦し続ける私た ちのフロンティアスピリットは、この 経験を通じて培ってきたものです。

時代のニーズを先取りして、社会が必 要とする新たな価値を提供していく技

術力と革新の心。 21世紀においてもなお、私たちUBE グループの羅針盤となっています。

〒105-8449 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館

TEL.(03)5419-6110 http://www.ube-ind.co.jp



エコタイヤの燃費性能を支える旭化成のS-SBR。シンガポールで生産を開始しました。

旭化成は、そのリーダーシップをとってゆこうと思う。昨日まで世界になかったもの「S-SBR」。詳しくは www.asahi-kasei.co.jp

その代表例がエコタイヤである。タイヤの転がり抵抗を小さくすれば、燃費性能は向上する。しかし同時に、しっかり止まるブレーキ性能も忘れてはいけない。 そんな二律背反の問題に応えたのが、高機能合成ゴムS-SBRである。

旭化成のS-SBRは、最適化された分子構造により二つの性能をバランスよく高め、エコタイヤに欠かせない素材として世界中のタイヤメーカーに供給されている。 今、この星を走る10億台を超えるクルマ。そのすべてがエコタイヤへはきかえた時、環境への影響は極めて大きい。そして、ビジネスと経済成長への影響も大きい。

昨日まで世界になかったものを。 Asahi KASEI